

令和2年3月19日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

総務文教常任委員会副委員長 田口 廣之

所管事務調査報告書

本委員会において、次のとおり所管事務調査を終了したので、会議規則第77条の規定により報告する。

記

1 学校教育に関する事項

- (1) 調査期日 令和2年2月6日（1日間）
- (2) 出席委員 東口隆弘、田口廣之、藤谷謹至、小島智恵、小川純文
中橋友子（以上6名）
- (3) 調査内容

① 学校施設長寿命化計画について

学校施設の劣化度調査の評価基準、施設ごとの評価結果や整備の進め方、児童生徒数・学級数について説明を受けた。

また、併せて長寿命化改修事業に係る国の補助金の見直しについて説明を受けた。

委員からは、学校施設の改修について、大規模改造工事と長寿命化改修事業の補助率とすべてを長寿命化改修事業に変更することによる財政的な負担や、全体の費用と町負担額、避難所として指定されている学校施設の機能強化の改修予定などについて質疑があり、4グループに分けて、1グループ10年かけて3校の改修を行う計画は現実的ではなく、早急に内容を詰めて、第1グループではどこをどのように行うのか、詳細な計画を示すことを求める意見があった。

児童・生徒数の推計については、児童生徒数の減少と学校の存続、運営の考え方、小中一貫教育、コミュニティ・スクール制度との関係や特別支援学級の推計の必要性などについて意見が出された。



2 各種団体との意見交換会

- (1) 実施期日 令和2年2月6日（1日間）
- (2) 出席委員 東口隆弘、田口廣之、藤谷謹至、小島智恵、小川純文
中橋友子（以上6名）
- (3) 実施団体名 幕別町PTA連合会
会長 松本誠、副会長 岡田義行、副会長 六郎田崇
副会長 山田洋 事務局 長谷川充（以上5名）
- (4) テーマ 学校施設の現状等について
- (5) 主な内容
 - ・町で劣化度調査を夏頃に行っていたが、結果については新聞報道で知った。幕別小学校は、すが漏りや雨漏りが多く、雨や雪が積もって溶けだすと漏れてくる。
 - ・玄関のラジエターの温風が変わるところから漏れている。4か所あるうちの1か所。修理については教育委員会と現在、協議中である。
 - ・子供たちや保護者からよく聞こえてくるのは、学校にエアコンが欲しいということ。あとは、トイレが臭いということ。
 - ・学校の机と椅子が古くて、新しいジャージを購入してあげても、背中とひざの裏がすぐにボソボソになる。
 - ・学校現場としては、幕別町は玄関の施錠が職員室から開錠したりできない。防犯上の問題がある。
 - ・築42年になるが暗い。とにかく明るくしてもらうのが一番の願い。

- ・防災拠点になっているが、体育館は非常に寒いのでこういう時期に避難所となると大変だという思いがある。優先順位をつけて、危ないところから改修をしていかなければいけないのではないかなと思う。
- ・今、学校に光ファイバーが入っていても、40人が同時に使うと止まってしまう。1学級全員が使用しても動くような環境が必要。
- ・幕別小の外トイレは、運動会でも保護者たちはとてもじゃないけど使えない。学校（校舎）を開放するなど対策をしている。
- ・明倫小は築30年以上経っており、当然トイレは狭く古い。子供たちは、体格が小さいので良いが、教職員が苦勞しているのではないのかなと思う。
- ・通信ということであれば、幕別、忠類、札内をつなぐラインであれば、光は環境が整っていると思うが、幹線から離れると光がない。職員室で使用するパソコンが動かないときがある。
- ・先生方が最先端のICTの機器を使いこなすというのは大きな課題。特に若い先生方は吸収が早いですが、年配の先生方はつらい。
- ・幕別町は本年度から小中一貫教育をスタートさせていくというので、同じ校舎で小中一緒に勉強するのか、校舎別々とするのか。このあたりは結局、町としてどのように考えていくのかが大きなところである。当然、施設の改修にも関わってくる。
- ・CSの関係で、現実はどういったことをやっているかと言えば、幕別の農協青年部の方々が学校に出向いてくれて、長芋掘りの体験をすとか野菜の育て方についての勉強会など、子供たちも外に出て様々なボランティアをするなどしている。昨年、道P連の会議で行ったときに、教育委員会の方でコーディネーターさんを2名用意してその方々が地域をつなげるために全てを担当していた。きちんとしたコーディネーターさんを教育委員会の方で配置していただくのが良いと考える。
- ・複式校は、生徒の数が少ないからこそできることもあり、中学校の英語の先生や理科の先生が小学校に来ていただいたり、小学校

で蕎麦打ちや餅つきだとか、農園活動の関連も行っているがそういう場に中学校の先生で時間の都合がつく方は呼んで、親たちとの交流をし、こんなことをやっているんだ、こんな先生いるんだということで認識を深められるかなとは思っている。

- 札内中は、途別小と古舞小の子供たちが進学してくる。100人超えるくらいのところに入り込むとなれば、事前に集団行動に慣れるということで有意義であると思う。
- 通学路の関係で、最近空き家、空き店舗がかなりある。防犯上の観点から考えるとそういった場所は危ない。片付けていただくと、安心して子供たちも通学できるのかと考えている。
- 田舎の方の学校は、もしもガラスを破られたとしても警備会社と連携していない。最近、我が校はカメラを付けてもらっている。警備会社と連携するのは難しくステッカーのみで連携はしていないのではないかと考えている。
- 今年は、夏、冬あわせて長期休暇が3日間少ない。合計50日だったのを47日にした。授業時間が増えている。それを確保しなくてはならない。
- プログラミング教育なんかも入ってきている。時間を増やさなくてはならない。英語教育、特別活動などを入れていくとさらに時間が必要。物理的に難しい状態になったので、長期休暇を削った。

